

日工會報

第18号

平成23年2月25日

発行 日立工業高校同窓会
発行者 同窓会事務局

日立市城南町2-12-1

☎0294(22)1049

FAX0294(21)4591

印刷所 協立印刷

☎0294(35)7857

会長挨拶

同窓会会長 長谷川 宏



会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、すでにご存知のように母校は平成十六年度から文部科学省、平成十九年度からは茨城県の指定を受け今日まで、「ものづくり」教育の一端を担っている学校であります。

「ものづくりはひとつづくり」と言われますが、成果主義は即戦力を重視するあまり、長年積み上げた経験を軽んじてしまい、結果として「ものづくり」の「後継者不足」問題が取り上げられておりま

す。伊勢神宮の二十年に一度の大祭がありますが神宮式年遷宮（じんぐうしきねんせんぐう）は、正殿（しょうでん）を始め御垣内（みかきうち）のお建物全てを新造することで知られております。二十年に一度新しくすることによって技術の伝承が絶えることなく、人から人へと確実に受け継がれるのであります。ものを作ると言えば、一度作ったものが、できるだけ長く残ることを考えますが、伊勢神宮のような技術伝承のあり方は、私たちに深刻なる反省を与えるものであります。ハイテク産業の裏返しはローテク基幹産業です。どちらの産業も日本という技術立国の立役者であります。母校では「ひとつづくり」をないがしろにしては「ものづくり」は出来ないという考え方を工業教育に取り入れ、先生方は熱心に在校生を育てております。これは来春の卒業予定者の就職率が九十四%と数字に表れて

おりますが、生徒諸君の努力は勿論であります。先輩諸君の各界でのご活躍の賜物でもあります。また、「鉄は熱いうちに打て」と申しますが在校生の若い力の活躍はアマチュア無線部・定時制サッカー部・定時制ソフトテニス部が全国大会に、関東大会には陸上競技部・山岳部が出場を果たしました。また、野球部からは米国遠征親善高校野球試合の茨城県選抜選手に二年生佐藤敬幸君が選抜され、卓球部では東京卓球選手権（全国）大会、全国高等学校卓球選抜大会に二年五来早幸君が出場権を獲得しました。校章正面にはためく数々の幟に同窓会としても嬉しく頼もしく感じております。昨年十一月初旬に開催された三年に一度の日工祭は、工業高校としての特色を十分に発揮され、PTAの協力もあり盛況なものでありました。

最後になりますが七十周年記念を二年後にひかえ、記念事業にむけ役員一同力を合わせて取り組んでいく所存です。各支部各会員の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。



学校長挨拶

学校長 高畑 啓治



同窓会の皆様方には、日頃から本校の教育活動に対しまして、ご支援・ご協力を頂いております。厚くお礼申し上げます。

本年は学校行事として三年に一度開催される日工祭が絶好の秋晴れの下で開催されました。PTA会員の皆様方のご支援・ご協力により、十一月五日から二日間に渡りまして大盛況のうちに終了することができました。

各クラスの催し物は、早い段階から企画・計画され、その内容に創意工夫のある発表となりました。また、本校の特長であるデュアルシステムの発表は、各実習企業で製作した実習作品の展示やパネルによる説明があり、充実した企業実習の成果が報告されていきました。さらに工業科では旋盤実演、七宝焼きやスタンドグラス電気スタンドの製作、作品販売ではテーブル